

# 日本社会福祉学会北海道ブロック・北海道社会福祉学会 学会ニュース 1

2023年7月4日発行

## 2023年度 北海道社会福祉学会講演会・総会

「個人の多様な生と社会政策—正義と福祉国家の再編—」を開催します！

2023年7月23日(日)にzoomオンラインにて学会講演会・総会を開催いたします。13時10分の講演会では、一橋大学名誉教授・帝京大学経済学部教授の後藤玲子先生をお招き、「個人の多様な生と社会政策—正義と福祉国家の再編—」というタイトルでご講演いただきます。長いコロナ禍は、私たちの生や生活、社会構造等に大きな影響を与え、今なおその影響は消え去っていないと思います。

テム(法制度、社会構造等)について、正義や福祉国家という点から考え、今後の羅針盤となる講演会になるかと思えます。

会員諸氏ならびにご関心のある方々に、是非、お誘いあわせのうえ、奮ってご参加ください。14時10分からは北海道社会福祉学会総会が行われます。会員のみなさまは、ご出席ください。

そのような混沌とした状況のなか、個人や国家、シス

みなさまのご参加、お待ちしております！！

北海道社会福祉学会講演会・総会


個人の多様な生と社会政策  
—正義と福祉国家の再編—

○講演 「個人の多様な生と社会政策—正義と福祉国家の再編—」  
後藤 玲子 先生 一橋大学名誉教授・帝京大学経済学部

○日時：2023年7月23日(日) 13時00分～15時00分  
○場所：テレビ会議システム(zoom)にて開催  
○参加費：無料  
○申込  
Googleform : <https://forms.gle/4cGAa7TbtUQt8raw8> / QRコード→

主催：北海道社会福祉学会・日本社会福祉学会北海道地域ブロック

※本チラシはpowerpoint2016のオンラインテンプレートを使用し作成しています。




北海道社会福祉学会(日本社会福祉学会北海道地域ブロック) 講演会・総会  
「個人の多様な生と社会政策—正義と福祉国家の再編—」

○全体スケジュール

時間	プログラム
12:50～	受付
13:00～13:10	開催挨拶
13:10～14:10	講演 北海道社会福祉学会研究大会 「個人の多様な生と社会政策 —正義と福祉国家の再編—」 後藤 玲子 先生 (一橋大学名誉教授)
14:10～14:20	休憩
14:20～15:00	北海道社会福祉学会 総会

○参加費：無料  
○参加申込について  
ご参加希望の方は Googleフォーム、QRコードでお申し込みください。  
申し込み締切：2023年7月21日(金)16時まで  
Googleフォームから  
<https://forms.gle/4cGAa7TbtUQt8raw8>  
QRコードから→



○参加にあたって  
・お申し込み後、前日までに参加申込者へテレビ会議システム (zoom) のURLをお送りします。  
・本大会はテレビ会議システム (zoom) を使用します。パソコン、スマートフォン・タブレット等のご参加が可能です (通信料等の費用は参加者各自でご負担ください)。

【お問い合わせ先】 研究担当：松岡 y-matsuoka[at]hokusei.ac.jp ([at]を@に変えお問い合わせください)

2023 年度北海道社会福祉学会

発刊されました！

「研究助成」応募中！！(応募は8月末まで)

北海道社会福祉学会では、研究奨励・研究者育成等を目的とした研究助成をおこなっています。奮って皆さまのご応募をお待ちしております！！

・助成内容:1 件につき 10 万円(対象件数 2 件)

・対象:北海道社会福祉学会に在籍している者

(B 会員は除く)

・2021 年度は 2 件の研究課題を採択し助成しています。

・詳細は、北海道社会福祉学会ホームページや研究助成募集の案内を参照のこと。

→ <https://hssw.jp/>

・締め切り:8 月末まで

本学会学会誌「北海道社会福祉研究」第 43 号(電子ジャーナル)が 2023 年 3 月に発刊されました。学会誌第 43 号では、朝岡健吾氏の研究ノート「リジリエンスを基盤としたソーシャルワーク実践理論の検討に向けたリジリエンスの概念枠組みの整理」、峯岸夕紀子氏の調査報告「知的障害者入所施設の食支援に関する意識調査－生活支援員の経験年数による視点から－」の貴重な調査研究の成果が掲載となりました。また 2021 年度に開催されたシンポジウム「コロナ禍における社会福祉実践の諸相－支援における困難の固有性と普遍性から－」について掲載されています。各シンポジストのコロナ禍における貴重なご報告が掲載されています。また本年度も会員諸氏からの論文等の積極的な投稿をお待ちしております。

【編集後記】

本年度も、シンポジウムや研究大会、研究会、若手研究会など様々な企画を練っております。是非、会員諸氏のご協力のほど、力強く進めていきたいと思っております。ご協力のほど、よろしく願いいたします。(M&N)